

考察および提言(2)

- 3期・4期対象者:

- 特に第3期は接種対象者であることの認知・麻疹の知識ともに最低であり、接種率も低かった

- これらのグループへのCMの有用性は不十分であった
 - 情報伝達および接種の実施についても、第3期・4期ともに個別の勧奨のみでは不十分である可能性が高い
 - 学校からの情報伝達は極めて有効であり、集団の場を用いた接種などの検討も有効であると考えられる
 - この年代に特化して有効な媒体の研究開発が必要
 - 第4期は受験・就職を控えたこの年代が接種しやすい環境作りが必要

- 接種対象者であることの認知は比較的高かったが、接種行動に結びついておらず、理由の把握と対策が必要